**音楽科学習指導案**

令和〇年〇月〇日（〇曜日）第〇校時〇年〇組音楽室　指導者　○○　○○

１　題材名　日本と世界の総合芸術を味わおう

　　教材名　【 日　本 】歌舞伎：「勧進帳」

　　　　　　【 中　国 】京　劇：「覇王別姫」

　　　　　　【イタリア】オペラ：「仮面舞踏会」

２　考察

(1)　題材観

　　本題材は、以下に示す学習指導要領の内容を受けて設定されたものである。

|  |
| --- |
| 第２学年及び第３学年　Ｂ　鑑賞（1）鑑賞  　ア　鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。  (ウ)　音楽表現の共通性や固有性  　イ　次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。  　（イ） 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり  (ウ)　我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性  〔共通事項〕（１）  （本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「音色」、「速度」、「強弱」、「旋律」） |

音楽、文学、演劇、舞踊、美術などの様々な要素の関わりから成立している総合芸術。その土地の風土や文化や歴史、伝統といった環境から影響を受けながら発展してきた音楽が、我が国や世界には存在する。様々な音楽文化に触れ、その多様性を感じ取ったり理解したりすることは、音楽に対する価値観や視野の拡大を図ることにつながると考える。この題材では、「歌舞伎」と「京劇」を中心に比較鑑賞を行う。音楽などの聴覚的要素や衣装・化粧などの視覚的要素などが一体となった総合芸術という共通点や楽器の音色や特有の旋律など相違点を挙げながら、それらの音楽の共通性や固有性について考えていく。また、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにし、他の芸術との関わりを考えながら音楽の多様性に対する興味・関心を広げ、音楽文化を尊重することにつなげられるようにしたいと考え、本題材を設定した。

(2)　教材観

　　本題材で扱う我が国の総合芸術は、三世並木五瓶作／四世杵屋六三郎作曲の歌舞伎「勧進帳」で、歌舞伎十八番の一つである。源頼朝と不仲になった源義経は、武蔵坊弁慶と四天王のわずかな家来と共に山伏の姿に変装し、京都から岩手県平泉の奥州藤原氏のもとへと向かった。その途中、現在の石川県にある安宅の関所を通過するときの、関守の富樫左衛門とのやり取りの様子を描いた作品である。初代市川團十郎が元禄15年（1702年）に演じたのが初演である。能の『安宅』をもとにした松羽目物として脚色され、飛び六方など、荒事の豪快な雰囲気だけでなく、舞踊やセリフ回しなどの高い技術も必要とされる作品で、総合芸術のよさや美しさを味わえる作品だと考える。また、伴奏としては、日本の代表的な三味線音楽の長唄が使用されており、音楽的な特徴を捉えやすい作品である。

　　一方、世界の総合芸術として、中国の京劇を扱う。京劇は、文学、音楽、歌唱、舞踊、化粧、衣装など、多様な芸術が一体となった総合芸術である。役柄によって違いのある臉譜（隈取）や見得など、日本の歌舞伎と類似している部分も多い。京劇の中で、本題材で扱う教材は、「覇王別姫」である。この作品は、漢文の歴史書『史記』にもとづく悲劇で、楚の項羽と漢の劉邦の天下をめぐる最後の死闘を描いた作品である。漢軍の策略にかかり窮地に陥った項羽。項羽の妻である虞美人は、夫の足手まといにならぬよう、項羽の刀で自害してしまう。京劇特有の発声や伴奏音楽の特徴的な響きなど、音楽の特徴を捉えるのに適していると考える。また、日本では、故事成語の「四面楚歌」や「抜山蓋世」としても知られている作品であり、京劇に対して興味をもちながら学習活動に取り組めると考える。

　　また、世界の総合芸術としてオペラも取り上げることで、音楽の特徴を対比的に目立たせることができ、歌舞伎や京劇との違いや音楽表現の共通性や固有性を捉えやすくなると考える。

３　題材の目標

　総合芸術の音楽の特徴と、他の芸術との関わりやその特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、表現の共通性や固有性について考え、総合芸術のよさや美しさを味わって聴き、世界の様々な音楽に対する興味・関心を広げ、音楽文化を大切にする態度を養う。

４　指導と評価の計画（全３時間予定）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価規準 | 知識・技能 | | | 知①　総合芸術の音楽の特徴と、他の芸術との関わりについて理解している。  知②　総合芸術の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 | | | |
| 思考・判断・表現 | | | 思①　総合芸術の音楽の音色、速度、強弱、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。  思②　音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 | | | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | | 態　総合芸術の音楽や他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 | | | |
| 過程 | | 時程 | 〇ねらい　　めあて | | 評価の観点 | | |
| 知 | 思 | 態 |
| つかむ | | 第１時 | 〇総合芸術の音楽の音色や旋律を聴き取り、音楽の雰囲気を捉えることを通して、音楽の特徴について考えることができるようにする。  世界の総合芸術を比べながら聴いて、音楽の特徴に気付こう  【題材の課題】  世界の総合芸術に親しみ、その魅力を味わおう | |  |  |  |
| 追求する | | 第２時 | 〇「歌舞伎」、「京劇」の音楽の音色、速度、強弱、旋律を知覚し、感受したこととの関わりについて考えながら、総合芸術における音楽表現の共通点や相違点に着目して音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解できるようにする。  二つの総合芸術を比べながら聴いて、他の芸術との関わりを捉えながら、似ている部分や違う部分を探ろう | | 知①〈観察・ワークシート〉 | 思①〈観察・ワークシート〉 |  |
| まとめる | | 第３時 | 〇「歌舞伎」、「京劇」のよさや美しさを批評する活動を通して、音楽表現の共通性や固有性について考え、他の芸術との関わりや音楽の多様性を理解するとともに、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。  世界の総合芸術の特徴を捉え、音楽のよさや美しさを味わおう  【課題を達成した姿】  世界の総合芸術における音楽の共通性や固有性について考え、他の芸術との関わりや音楽の多様性を理解するとともに、音楽のよさや美しさを味わっている | | 知②〈ワークシート〉 | 思②〈観察・ワークシート〉 | 態〈観察・ワークシート〉 |

５　本時の展開（１／３）

(1)　ねらい　総合芸術の音楽の音色や旋律を聴き取り、音楽の雰囲気を捉えることを通して、音楽の特徴について考えることができるようにする。

(2)　準　備　鑑賞用音源、学習プリント、振り返りシート

(3)　展　開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 〇学習活動  ・予想される生徒の反応 | 時間  (分) | 指導上の留意点及び支援・評価  ◇評価　◎研究上の手立て |
| １　題材の課題、本時のめあてをつかむ。  〇「勧進帳」、「覇王別姫」、「仮面舞踏会」を聴き、関係する絵を選ぶ。  ・オーケストラの音がするね。  ・舞踏会みたいな感じがするからイだと思うな。  ・三味線の音が聴こえたから、日本の音楽だと思うよ。  ・歌舞伎っぽいからウだと思うけど、アの絵も似ているよね。  ・ジャンジャンと音が鳴っていて、派手な感じだったね。中華料理のお店で流れていそうだけど、関係する絵はどれだろう。  【題材の課題】  世界の総合芸術に親しみ、その魅力を味わおう  世界の総合芸術の音楽を比べながら聴いて、音楽の特徴に気付こう | 15 | ・映像は流さずに音のみを流すことで、音楽に集中して聴取できるようにする。  ◎西洋音楽も取り入れて聴き比べることで、共通点や相違点などの音楽の特徴に気付きやすくする。  ・発言に対しては、受容的な態度を取り、活発な発言ができるように環境を整える。  ・音楽以外の芸術にも触れることで、総合芸術を意識できるようにする。  ・題材を通しての課題を確認することで、学習に対する見通しをもてるようする。 |
| ２　総合芸術が受け継がれてきた理由に関心をもつ。  ・いろいろな芸術の組み合わせがおもしろいから。  ・昔は、歌舞伎や京劇が娯楽だったからじゃないかな。  ・その国や地域に、根付いている音楽だからだと思うよ。 | 10 | ・音楽に対する興味・関心を高めるために、総合芸術に関する情報を伝える。  ・主体的な活動につながるように、様々な疑問点や不思議に気付かせる。  ・「歌舞伎」と「京劇」は、ユネスコ無形文化遺産であることを伝え、追求の見通しをもたせる。 |
| ３　二つの音楽を比較しながら聴く。  〇「勧進帳」と「覇王別姫」の音楽の特徴に気付く。  ・最初のにぎやかな部分は、誰かが登場している場面だと思った。  ・歌声が力強いから、戦いに行く前みたいな感じがした。  ・速くなったところが、急いでいる様子を表現していると思うから、何かに追いかけられている場面を想像したよ。  ・速くなるところは、何かうれしいことがあって、喜んで走っている場面を想像したけどな。  ・速くなる部分でも、人によって感じ方が違うね。 | 20 | ・生徒の思考力を高めるため、物語の内容を知らせずに聴取させる。  ・音だけを聴取することで、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを意識させる。  ◎音楽から喚起されるイメージや音楽を聴いて思い浮かぶ場面を考えながら聴取させることで、自分の思いや気付きを具体的に認識できるようにする。  ・意見交流の場を設けることで、他者の考えや感じ取ったことなどに触れることができるようにする。  ・生徒の発言を基に音楽を聴き返すことで、音楽に対する気付きを共有できるようにする。 |
| ４　学習のまとめをし、学びを振り返る。  ・同じ総合芸術でも、地域によって表現の仕方に違いがあることが分かった。他の芸術との関わりを詳しく調べて、受け継がれてきた理由を知りたい。 | 5 | ・本時の振り返りを行い、鑑賞して気付いたことや感じたこと、題材で何を学びたいかを問い掛ける。 |

本時の展開（２／３）

(1)　ねらい　「歌舞伎」、「京劇」の音楽の音色、速度、強弱、旋律を知覚し、感受したこととの関わりについて考えながら、総合芸術における音楽表現の共通点や相違点に着目して音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解できるようにする。

(2)　準　備　鑑賞用音源、学習プリント、振り返りシート

(3)　展　開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 〇学習活動  ・予想される生徒の反応 | 時間  (分) | 指導上の留意点及び支援・評価  ◇評価　◎研究上の手立て |
| １　本時のめあてをつかむ。  二つの総合芸術を比べながら聴いて、他の芸術との関わりを捉えながら、似ている部分や違う部分を探ろう | ５ | ・前時の振り返りを行うことで、自己の気付きや他者への共感を促す。  ・本時の流れを確認し、学習に対する意欲を高める。 |
| ２　「歌舞伎」、「京劇」の音楽の特徴や他の芸術との関わりを探る。  〇グループで分担を決め、自分が担当する項目の特徴を比較しながら捉える。  ・歌舞伎の歌は、あまり強弱の変化はない感じがする。  ・歌舞伎は三味線の音が中心で鳴っているけれど、京劇は鐘の音が中心で鳴っている。  ・歌舞伎の衣装に比べると、京劇の衣装の方が派手だよ。  ・二つとも化粧が濃いね。  ・京劇の舞台は、机と椅子しかないよ。  ・京劇は役者が歌っているけど、歌舞伎は後ろにいる人が歌っている。  〇グループで情報を共有し、他の芸術との関わりが、どのように音楽に表れているのかを考える。  ・京劇は、鐘の音が印象的で、その音が鳴ると、舞台の緊張感が増してくる感じがした。  ・二つの化粧方法は似ているけど、力強さを表しているのかな。漫画でも見たような気がする。  ・歌舞伎の動きは激しくないけど、それが落ち着いた雰囲気を演出している感じがする。 | 40 | ・演奏している映像を流し、演奏方法や他の芸術との関わりを認識できるようにする。  ・自分の担当を決めて音楽の特徴を探ることで、主体的な学びを促す。  ・一つの項目に焦点化して鑑賞することで、それぞれの特徴を捉えやすくする。  ・二つの音楽の特徴を捉えやすい部分を抜き出して鑑賞させることで、音楽の共通点や相違点に気付きやすくする。  ◎多様な意見に触れるため、同じ項目の担当同士の対話を促す。  ◎音楽を形づくっている要素を手がかりに、音楽の特徴を捉えることで、音楽に対する理解を深める。  ・生徒が主体的に学習を進めることができるように支援する。  ・共通点や相違点、他の芸術との関わりを音楽や映像を通して確認する。  ◎二つの音楽の文化や歴史などに触れることで、音楽文化への興味・関心を高める。 |
| 〇「勧進帳」“これやこの～”と「覇王別姫」“垓下の歌”を歌い、それぞれの特徴を探る。  ・勧進帳は、音を延ばしながら音程を変化させるところが難しい。歌うのに、息もたくさん必要だね。  ・京劇は、独特な発声方法だった。歌舞伎とは違う雰囲気の歌い方だった。 |  | ・演奏場面の映像を繰り返し視聴し、それぞれの音楽の節回しや抑揚のつけ方などを知覚・感受できるようにする。  ・それぞれの音楽の一部分を体験的に歌うことで、実感を伴って音楽の特徴を捉えられるようにする。  ◇知①総合芸術の音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解している。  〈観察・ワークシート〉  ◇思①総合芸術の音楽の音色、速度、強弱、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。  〈観察・ワークシート〉 |
| ３　学習のまとめをし、学びを振り返る。  ・様々な芸術が一体となっている総合芸術は、音楽や他の芸術の関わりの中で、それぞれに役割があることが理解できた。  ・実際に歌ってみると、それぞれの音楽の特徴がよく分かって、音楽がおもしろいと思った。 | ５ | ・「歌舞伎」と「京劇」の共通点や相違点を捉え、他の芸術との関わり、歴史や文化なども音楽に影響していることを確認し、次時につなげる。 |

本時の展開（３／３）

(1)　ねらい　「歌舞伎」、「京劇」、のよさや美しさを批評する活動を通して、音楽表現の共通性や固有性について考え、他の芸術との関わりや音楽の多様性を理解するとともに、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(2)　準　備　鑑賞用音源、紹介文シート、振り返りシート

(3)　展　開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 〇学習活動  ・予想される生徒の反応 | 時間  (分) | 指導上の留意点及び支援・評価  ◇評価　◎研究上の手立て |
| １　本時のめあてをつかむ。  世界の総合芸術の特徴を捉え、音楽のよさや美しさを味わおう | 5 | ・前時の振り返りを行うことで、自己の気付きや他者への共感を促す。  ・今まで学んできたことを基に紹介文を書くことを伝える。 |
| ２　紹介文を書き、グループで発表する。  〇音楽の紹介文を書く。  〇紹介文をグループで発表し、共有する。  　今日は、中国の京劇という総合芸術を紹介します。その中でも今回は、『覇王別姫』という曲です。  　その総合芸術の特徴は、女性役の声がとても甲高く、独特な発声をしています。裏声や頭声とも違い、独特な発声方法で歌っています。また、鐘の音がとても響いていて、中国という感じの雰囲気を出しています。  　この総合芸術は、日本の歌舞伎と比べて、舞台の上には、基本的に机一つと椅子が二つで演じられています。舞台装置が簡素でも、音楽や動きや化粧などが一体となって、迫力のある舞台になっています。  日本の歌舞伎と同じように、その国の歴史や物語が題材になっているので、親しみやすい内容になっていることも伝統を守ることができた理由の一つだと思います。  みなさんも、ぜひ聴いてみてください。 | 30 | ・相手に伝わりやすく具体的な内容の記述を促すため、紹介する相手を明確に示す。  ◎生徒の実態に合わせた紹介文シートを準備する。  ◎学びの深まりや知識の定着のために、紹介文を他者と伝え合う場面を設ける。  ・全体で意見を共有する際には、音楽を通して確認できるようにする。  ◇知②　総合芸術の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。  〈ワークシート〉  ◇思②　音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。  　　　　　　　　　〈観察・ワークシート〉  ◇態　総合芸術の音楽や他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。  〈観察、ワークシート〉 |
| ３　学習のまとめをし、題材の学びを振り返る。  〇本題材で学んだことを振り返りながら「勧進帳」、「覇王別姫」を聴く。  　同じ総合芸術でも、国や地域によって表現に違いがあり、その国の文化や音楽の歴史が大きく関わっていることを知りました。似ているような化粧法でも舞台装置は全然違ったり、歌は似ているけど楽器は違ったり、いろいろな特徴があって、鑑賞しておもしろかったです。その国の歴史や物語などを題材にして表現することで、人々の生活に根付いてきたからこそ、今でも受け継がれている芸術なのだと思いました。機会があれば、歌舞伎も京劇も実際に見てみたいです。 | 15 | ・他者の意見や自分の考えを再認識するため、題材で学んだことを振り返りながら「勧進帳」、「覇王別姫」を再鑑賞させる。  ・振り返りシートを活用し、「つかむ」過程で学習したオペラの特徴も想起させ、世界の総合芸術における音楽の共通性や固有性について学びの振り返りをさせる。  ・その国の人々の生活や歴史の中で受け継がれてきた音楽を文化として捉え、音楽文化について考えられるようにし、今後の学習にどのように生かしていくかを考えさせる。  【課題を達成した姿】  世界の総合芸術における音楽の共通性や固有性について考え、他の芸術との関わりや音楽の多様性を理解するとともに、音楽のよさや美しさを味わっている |